

令和3年度学校評価 保護者アンケート(記述)に対する回答

○ 「下校時刻のお知らせ」(備考欄)について

【回答】「配付されている『下校時刻のお知らせ』の備考欄は必要か。行事等は学年便りに詳しく記載されている。地域の回覧で不特定多数の方がこのお知らせを目にされるので、少し気になっていた。この「お知らせ」は、回覧の必要が無いとも考える」といったご意見をいただきました。ご存じのとおり、本校はコミュニティスクールとして「地域とともにある学校づくり」を推進しています。学校の様子や予定などを、保護者の皆様はもちろんのこと、地域の皆様とも共有しながら、学校運営を行っているところです。地域には、「安全見守り隊」をお引き受けいただいている方々や学校に関心をもってご協力いただいている方々もたくさんいらっしゃいますので、現段階では、下校時刻・方法に関わるものや地域への周知を図りたいと考えている項目を表記しています。備考欄の内容については、今後検討させていただきたいと思いますが、こうした「地域とともにある学校づくり」にご理解をいただけますようお願いいたします。

○ コミュニケーションについて

【回答】「学校は楽しい?と聞いても答えなかったり、どんなこと学校でした?って聞いてもなかなか話せなかったり、お友達の話をしてくれないので少し不安。もう少し学校生活に対して慣れが必要なのかと感じる。保育園生活に比べると先生と親との関わりが減ってしまうので、面談の時間はとても貴重な時間だと思うので、よいところだめなところは保護者に対しても教えていただきたい」といったご意見をいただきました。ご家庭でお子さんに、学校の様子などをお聞きいただいて、ありがたく思います。楽しいこともいやなことも、何でも隠さずに安心して話せる人が、お子さんの心の安定や明日への意欲につながると思います。保護者との情報共有のやりとりは、連絡帳や放課後の時間に電話等で行っていますが、ご心配なことやご相談等がございましたら、遠慮なくご連絡いただければと思います。

○ 学校HPの閲覧について

【回答】「学校のホームページを見ていなかったの、これからは見るようにする」といったご意見をいただきました。アンケート結果で児童の評価は上がっていますが、保護者も児童もどちらもワースト1の評価値になっています。特色ある家庭や地域との連携・協働を進めていくために、HPや各種たよりの内容を工夫したり、HPの「学校ニュース」のコーナーに職員は月3回程度の記事をアップしたりしています。特に、「学校からの連絡」や「学校ニュース」は、スマートフォンからもご覧いただけるようになっておりますので、お時間のあるときにご覧いただき、お子さんと学校の出来事などをお話する材料にいただければと思います。

○ 運動について

【回答】「運動に対して苦手意識があり、楽しさを感じていないようだ。家庭でも休日には体力づくりのためにウォーキングに誘うなどしてるが、嫌々やっている。運動が楽しいと思えるようなご指導を」といったご意見をいただきました。体力づくりについては、アンケート結果で保護者の評価は上がっていますが、職員は前年度並、児童の評価は下がっています。雨天時の昼休みには、順番に学年ごとに体育館を使用して、体を動かせるようにしています。また、コロナ禍において実施回数が減ってしまいましたが水曜日の「ロング昼休み」に、縦割り(WG)活動での共遊も行っています。緊急事態宣言後、業間活動での入れ替え制の4分間走も実施しました。体育の時間に運動量をしっかりと確保したり、休み時間や昼休みに子どもたちが自ら工夫して運動に取り組んだりできるよう、職員も一緒に汗を流しながら工夫改善を進めてまいります。

○ メモする力について

【回答】「説明事項の要点をメモする能力がどんどん下がってきているように感じる。パソコン等うまく利用すれば大変便利で効率的なことは承知しているが、その場で重要と思ったことをさっとメモする力も育つような教育も必要なのではないかと感じている」といったご意見をいただきました。学校では、国語科の授業を中心に、メモを取ることの重要性やメモの取り方などを指導しています。また、社会科学見学や校外学習等で説明を聞いた際には、メモを取らせ、帰校後、まとめの作成時にメモを活用させています。メモを取る習慣をつけることには、情報のインプット能力・アウトプット能力の両方が高まる効果があるそうです。また、メモによって「情報を『素通り』しなくなる」、そして「曖昧な感覚や概念を言葉にできるようになる」そうです。引き続き、指導を続けていきたいと思っております。

○ 姿勢について

【回答】「姿勢のよさについては、すぐによくなるものではないと思うが、授業の最初に必ず自分の姿勢を確認するなど、どこかでそういったものを取り入れてほしい。家でもかなり声かけをしているが、全くよくなる」「姿勢が悪いところがあるので家でも気を付けていきたい」といったご意見をいただきました。学校では、毎週木曜日の朝、「いただきます」の前、歯磨き時に「立腰タイム」を設け、腰骨を立ててよい姿勢を整えることを指導しています。また、授業中も実態を見ながら「両足は床！」「背筋はピン！」といった具体目標を決め、児童の意識化を図っています。アンケート結果の職員評価では、前年度よりも上がっておりますが、保護者と児童の評価は下がってしまい、どちらもワースト2の評価値になっています。学校でもお子さんの健やかな成長のため、継続指導してまいります。

○ P T A活動について

【回答】「P T A活動で、成人教育、校外安全などあまり活動のないもの、バザーなどの行事は本当に必要なか検討してもらいたい」といったご意見をいただきました。今年度、成人教育部の皆様には、家庭教育学級や学校保健委員会などにご参加いただきました。また、校外安全部の皆様には、運動会や持久走大会での見守り、登校班編成・旗当番の管理、リサイクル回収への協力等をいただいております。今年度もバザーは中止となりましたが、リサイクル回収の収益金と合わせて、ワイヤレスマイク、給食当番の白衣、入学式生花、合唱バス代、トイレスリッパ、カーテンなど備品の修繕費や環境整備費に充てさせていただいております。ご意見はP T A執行部にもお伝えいたします。

○ 業務改善について

【回答】「教職員、保護者の負担が大きすぎる。コロナ禍において現状に合っていないことが多々見受けられる。ふるさとを愛する心は強制ではつukれない。保護者のよそ者・新しい者は地域には受け入れてもらえない」といったご意見をいただきました。学校では、次年度の計画を作成する時期に入り、実施した教育活動について、教育効果の検証を行っています。また、学校運営協議会においても、コロナ禍における学校教育の現状を共有し、業務や意義の小さい行事等について縮小削減できるよう、協議を進めています。コロナの感染防止を最優先し、3密を避けるため人と人とのつながりが希薄化していることの影響もあり、コロナの終息を願う毎日です。

○ その他の意見

【回答】「スクールバスを検討してもらいたい」といったご意見については、栃木市教育委員会に報告し、回答をいただきました。国の基準をもとに栃木市として、小学生は片道4 km以上の場合にスクールバスを導入しているそうです。本校の学区では、この基準に達していないため、導入されないとのこと。また、「体育着のゼッケンは、(吹上小のような)ワッペンタイプに変更してもらいたい」といったご意見については、他校の状況を確認し、今後の検討とさせていただきます。

○ 温かなご意見

【回答】「コロナ禍でも、授業参観や持久走大会を実施してくださり、感謝しています。学校生活を少しでも感じる事ができ、うれしく思います」保護者の皆様の本校教育に対するお気持ちに感謝いたします。千塚小学校の教育活動をさらに充実させるための大切な資料として活用してまいります。ありがとうございました。